

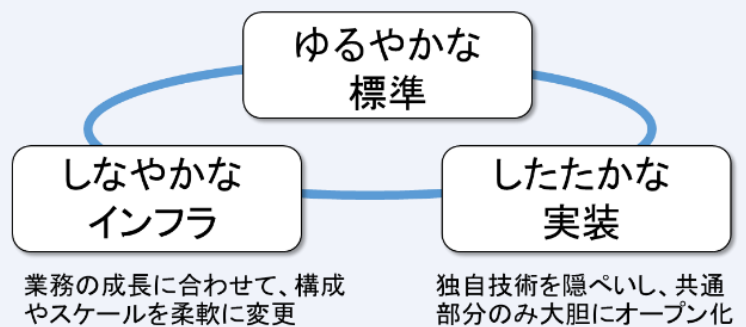
# IVIプラットフォーム(2016年度)募集案内

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブでは、つながるものづくりのためのしくみとして、アプリ、デバイス、インフラ、そしてツールを相互に連携させることで、サービスとして価値を提供するプラットフォームを募集いたします。それぞれの企業もつIT資産を、コンポーネントとしてではなく、プラットフォームとして提供するビジネスモデルを志向している会員の皆様は、この機会にぜひともご応募いただき、企業単独での実現が難しかったプラットフォームビジネスを、IVIの資産を活用し加速させてください。

## IVIプラットフォームの特徴

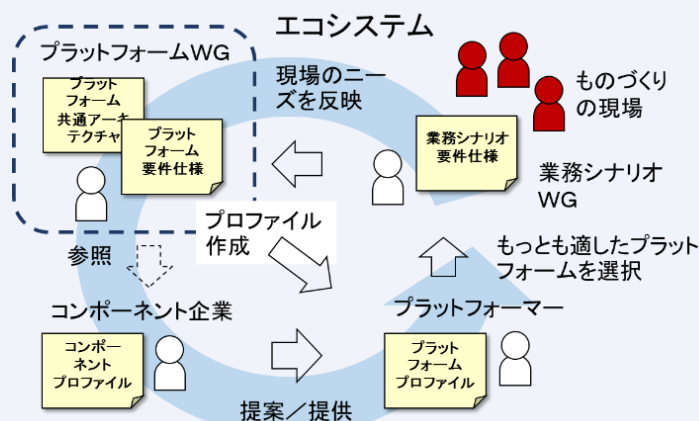
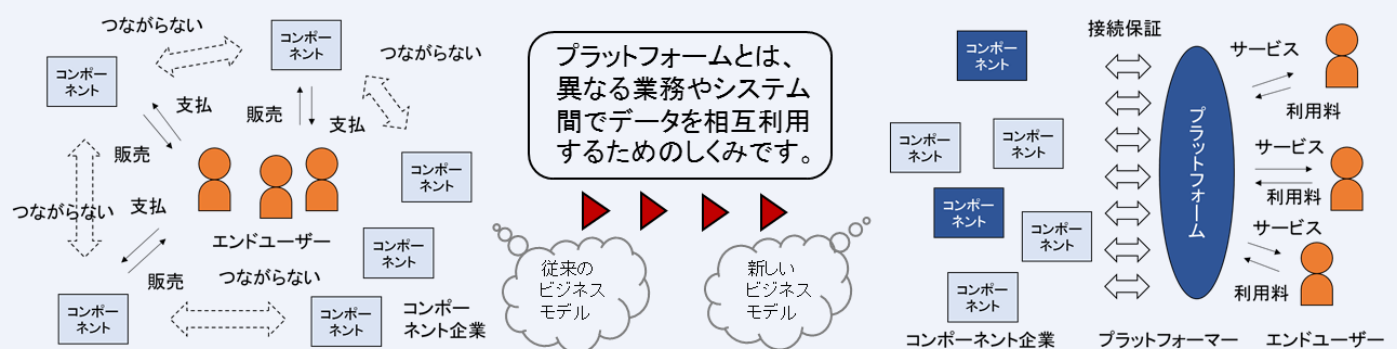
- 1 ものづくりを実践する企業にとっての価値を最大化することを第一の目的とします。
- 2 構成するコンポーネントについて、オープンな仕様にもとづくエコシステムとします。
- 3 企業データの所有者は企業自身とし、ボトムアップなくみづくりを可能とします。

個別の差異を許容し、共通化する部分が段階的に進化



## IVIプラットフォームのメリット

- ① 企業または企業コンソーシアムのプラットフォーム名を、IVIプラットフォームとして登録できます。
- ② IVIプラットフォームカテゴリに対応した要件について、最大3つまで評価を受けることができます。
- ③ IVIプラットフォームのロゴを、自社のウェブサイト、パンフレット、説明資料などに掲載できます。
- ④ IVIのプラットフォームカテゴリごとに、申請したプラットフォームをWebサイトに掲載できます。
- ⑤ 業務シナリオWGからの要望に対応して実証実験に参加し、その成果をIVI事例として公開できます。



## なぜIVIプラットフォームなのか?

IVIでは、ものづくりの現場ニーズをそのまま反映した業務シナリオを、実在するシステムとして実装するにあたり、それに適したプラットフォームを活用することで、実証実験および実運用システムを構築するための時間やコストを大幅に削減することを可能とします。受け身ではなく、能動的にプラットフォームの要件に関与するために、プラットフォームWGが作成する要件仕様を中核としてエコシステムを構成しています。

## 募集プラットフォームカテゴリ

| カテゴリ名     | 説明   |
|-----------|--|
| 生産技術情報 PF | 設計情報から生産ラインの構成を検討し、試作から量産までのプロセスに至る技術データを扱う PF。        |
| 現場情報管理 PF | 生産現場で得られる品質データ、技能データ、稼働データをもとに QCD を日々改善するための PF       |
| 計画実績連携 PF | 生産ラインにおいて工程進捗を管理し、計画変更や仕様変更や現場の状況に応じてダイナミックに対応するための PF |
| 企業間連携 PF  | 企業間のサプライチェーンやエンジニアリングチェーンに必要なデータをセキュアに交換するための PF       |
| 企業まるごと PF | 中小企業向けに、「売り」「買い」「作り」がつながり、生産管理に必要な機能をコンパクトにまとめた PF     |
| 予知保全 PF   | 故障予知のために必要な関連データを、メーカーやサイトをを超えて管理し、必要な対策をとるための PF      |
| 設備管理 PF   | 設備の稼働データを活用し、総合設備効率を向上するとともに生産管理や品質管理ともつなげるための PF      |
| 保守サービス PF | 販売した製品の利用状況をモニタリングし、故障時のサポートや予備品などを共同で行うための PF         |

(注) IVI プラットフォームは、10月31日までに上記カテゴリの中から最大3つを選択可能です。

### 応募資格

- ◆ IVI の正会員またはサポート会員であること。
- ◆ IVI プラットフォームを事業として管理し運営する能力を有すること。
- ◆ IVI 会費とは別に第6条で定める IVI プラットフォーム協賛費を支払うこと。
- ◆ その他、IVI 規則 009「プラットフォームに関する規則」および関連する規則を遵守すること。

### 協賛費 (企業規模、申請形態により以下の協賛費が必要となります。)

| 協賛費             | 大規模プラットフォーム(注2) | 小規模プラットフォーム(注2) |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 単独型プラットフォーム(注1) | 300万円/年         | 30万円/年          |
| 連合型プラットフォーム(注1) | 100万円/年         | 10万円/年          |

(注1) 単独型プラットフォームは、1つのプラットフォームが管理と運営を行うプラットフォームです。

連合型プラットフォームは、複数のプラットフォームが管理と運営を行うプラットフォームです。

(注2) 大規模プラットフォームは、資本金10億円以上、または従業員1,000人以上のいずれかを満たす企業および団体です。小規模プラットフォームは、上記以外の企業および団体です。

### よくある質問

- ◆ システムインテグレータとは違うのですが? —— 一般にシステムインテグレータは、システムを構築するまでがメインのタスクですが、プラットフォームは、システムの運用をサービスとして継続的に支援します。
- ◆ 必要なコンポーネントがすべてなくてもいいですか? —— プラットフォームは、自社が保有しない部分については、エコシステムとして多くの外部企業が提供するコンポーネントを活用します。
- ◆ プラットフォームの申請は毎年するのですか? —— 継続的に翌年以降も申請することで、プラットフォームの導入実績や新たなニーズの獲得をし、プラットフォーム自身が進化していくことが可能となります。
- ◆ 国際標準など海外との連携はあるのですか? —— IVI プラットフォームは、プラットフォーム共通アーキテクチャ、プラットフォームリファレンスモデルなどをベースとし、国際標準とも連携していく予定です。

### 応募方法

応募用紙に必要事項を記入の上で、以下の事務局まで郵送、FAX またはメール添付でお送りください。

#### 【申し込み先、問合せ先】

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 モノづくり日本会議内  
 一般社団法人インダストリアルバリューチェーンイニシアティブ 事務局 担当：鎌田正雄  
 FAX：03-5644-7209 電子メール：office@iv-i.org